

(4) ポートフォリオを活用した親子で学ぶ性教育プログラムの開発

保健看護学部 保健看護学科 若井和子

3～6歳児親子を対象にポートフォリオを取り入れた性教育プログラムを全3回実施し、性教育が親子関係に与える効果およびポートフォリオの効果について評価した。受講毎に質問紙調査、3回目受講後1ヵ月を目途にグループインタビューを行った。

その結果、①受講した子どもは全員「いきいき型」で、親の子どもへの関わりは3～4歳児では「厳しく躱げる親」が多く、5～6歳児の親は「子どもを可愛がり躱は緩やか」と「子どもと距離を置き厳しく躱げる」逆タイプが多かった。②親の不安は初回が最高で、受講後に変化した。③幼児期から親子で性教育を受講することは、子どもの感情リテラシー発達を促し、親は育児の自己効力感を高める。④性教育にポートフォリオを取り入れると、子どもが関心事をその中から見つけ、学びを他者に伝達しようとする行動が見られる。⑤親子が共通の会話を楽しみ、子どもから親へのアタッチメント形成に役立つことが示唆された。